



交通安全情報

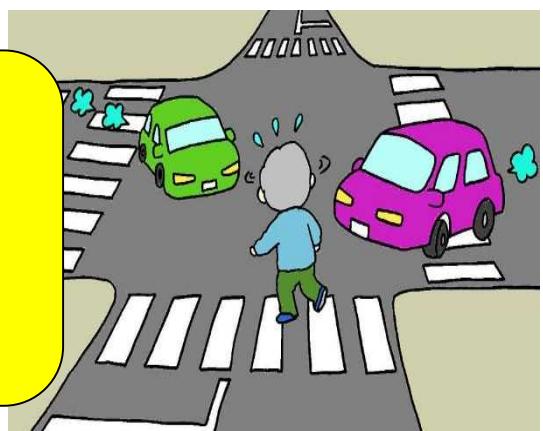
～高齢歩行者(65歳以上)が
被害となる交通事故について～

令和7年11月21日
函館中央警察署
交通第一課
第81号

～高齢歩行者が被害となる 交通事故の防止について～

北海道内では、これから季節、高齢歩行者(65歳以上)が被害となる交通事故が多発する傾向にあります。

周囲が見えづらくなる日没時間帯から夜間にかけての発生が多く、特に交差点では慎重かつ徹底した安全確認を行うことが重要です。



高齢歩行者が被害となる 交通事故の特徴について

- 横断歩道以外の道路を横断中に交通事故に巻き込まれる傾向にある。
- 車の運転手から見て、右から左に横断する高齢歩行者が死亡する事故が多発している。
- 交通事故に遭遇した場合、死亡するリスクが高い傾向にある。

高齢歩行者の特性について

- 加齢に伴い身体機能や認知機能が低下し、危険を察知し瞬時に行動することが難しい場合がある。
- 身体機能の低下に伴う歩行速度の低下や車両の接近に気付いていない場合がある。



高齢歩行者の特性を理解し、高齢歩行者を交通事故から守りましょう！

函館中央警察署 交通第一課企画係